



議会だより

なよろ

25

No.

2012.7.1 発行



全校児童が一丸となって「お宝ゲットだぜ!!」

最後まであきらめないで一生けんめい頑張りました。

雲ひとつない青空の広がった五月さつきは晴れのもと、市内各小学校では運動会が開かれました。

(写真はいずれも名寄東小学校にて)

第2回定例会

定例会で決まったこと	2
一般質問 11人	3 ~ 8
各委員会活動報告	9
政務調査報告	10 ~ 11
議員協議会	12
議会日誌・可決された意見書・臨時会	13
きぼう・議会報告会のご案内・編集後記	14

第2回定例会 5月31日から6月14日までの15日間

～ TVh名寄中継局開設事業に23,981千円追加～
概算総事業費9,100万円 4自治体で連携・年内開設予定

平成24年第2回定例会は、5月31日から6月14日までの15日間開かれました。
5月31日の開会当日から、本会議ほか各委員会等もノーネクタイ上着なしのクールビズで行われました。
議案審議では、条例案7件、補正予算案4件、その他10件、報告8件、諮問1件、意見書案6件を審議しました。
一般質問は、6月12日、13日、14日の3日間行われ、11人の議員が市政の課題について質問しました。

主な条例

名寄市高齢者自立支援事業条例の一部改正について

風連地区において、合併前の風連町除雪サービス事業実施要領に基づいて実施している除雪に係る助成事業を、名寄地区で行っている除雪サービス等助成事業に統一しようとするもので、4年間の経過措置を設け、段階的に実施するため条例の一部を改正する。市民福祉常任委員会に付託し、閉会中の継続審査とした。

主な補正予算

TVh名寄中継局開設事業負担金

株式会社テレビ北海道の中継局開設事業に対する名寄市分負担金として2,398万1,000円を追加した。開設に伴い名寄市ほか、土別市、美深町、下川町が受信エリアとなる計画である。

名寄南小学校耐力度調査委託料

名寄南小学校と名寄豊西小学校の統廃合による新校舎建設のため、名寄南小学校の耐力度調査委託料1,080万円を追加した。

災害対策支援事業費

南相馬市への支援事業として、南相馬市の子どもたちに対し、夏休み期間中の放射能ストレスを解消する場を提供し、交流促進を図るため、299万5千円を追加した。

人事案件

人権擁護委員

人権擁護委員の候補者の推薦に同意しました。

山崎 真由美氏（新任）
名寄市風連町西町1番地46



農業委員会委員

名寄市農業委員会委員に推薦しました。



矢吹 祐子氏（再任）
名寄市字朝日625番地6



五十嵐 雅美氏（再任）
名寄市字智恵文15線北21番地



住田 美紀氏（再任）
名寄市風連町字中央1666番地



東 さおり氏（新任）
名寄市風連町字瑞生3430番地

審議日程

5月31日（木）

- ・開会
- ・行政報告
- ・議案等の審議
議員協議会

6月12日（火）

- ・一般質問
議会運営委員会

6月13日（水）

- ・一般質問

6月14日（木）

- ・一般質問
- ・議案等の審議
- ・閉会
議員協議会

一般質問



諸課題に独自の視点を

市民連合・凜風会
佐藤 靖 議員

節電とエネルギー対策は

問 今夏の北海道では1.9%の電力不足が予想されており、北海道電力は事業主に対し7%以上の節電を要請しているが、市としての対応策は。また、今回の節電は一過性のものとせず、パソコン利用等も含め、行財政改革の視点も持つべきではないか。さらに今後の公共施設建設時において、観光にも活用可能な雪等の自然エネルギー、再生可能エネルギーの導入を目指すべき。

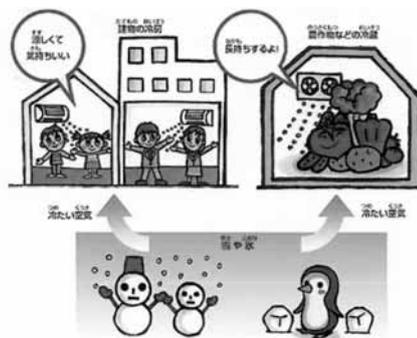
答 節電は、昼休みの消灯やパソコン電源を切るなど取り組んでいるが、今後とも行財政改革の視点を含め、さらに検討していく。自然エネルギーの活用も具体的方針を出すに至っていない

いが、今後は各施設の実施計画の中で導入可否を検討する。

市立病院と大学の将来は

問 自治体病院等広域化・連携構想の見通しは。また、看護師業務の負担軽減のため、改めてM/Aやクランク等との役割分担の明確化が必要。大学も財務体質の強化が必要ではないか。

答 連携構想については21日の会議で行動方針が示される。役割分担の明確化に勤める。大学側と今後も連携しながら体質強化に努めたい。



自然エネルギーの活用が求められている



明るく元気なまちづくりを

市政クラブ
山田 典幸 議員

加藤市政任期折返しを經過して

問 任期前半2年間の成果と、今後の市政運営の取組みについて。

答 総合計画前期計画の総仕上げをはじめ、公約事業の取組みなどを通じ、観光振興計画の策定などの観光事業の推進、食肉センターの整備、市立病院消化器内科の医師確保、(仮称)複合交通センターや(仮称)市民ホールなどの事業を推進してきており、一定の成果が表れていると考えている。今後も総合計画後期計画の実現に向けて、本市の財産の活用や情報発信とともに、行財政改革を推進し、健全な財政運営のもとに着実に事業を推進し「明るく元気なまちづくり」を進めていきたい。

地域農業の振興について

問 農地集積と担い手育成の今後の対策は。

答 「新名寄市農業・農村振興計画」においても最重要課題として位置づけており、「人・農地プラン」の策定による担い手対策と農地集積対策等国の支援策と市の単独事業を活用しながら、関係機関・団体と連携し、生産者の意向を聞きながら取り組んでいきたい。

他の質問・観光振興計画における移住定住対策について・スポーツ指導者の育成について



今年も豊稔の秋を願い農家の作業は続く(智恵文の馬鈴薯畑)

一般質問



市民が主役のまちづくりを

新緑風会

大石 健二 議員

■ 諮問機関の制度改革を急げ！

問 市の各種諮問機関は「名寄市各種委員の任免に関する要綱」に照らすと大きく乖離している。例えば委員の男女比率の均衡を図るとあるが、女性がゼロの機関が9つもあるほか、1人の委員が8つの機関に名を連ねるなど要綱が遵守されていない。制度改革を図る考えは？

答 女性委員は適正に専任できていない。女性委員の選任率は3割を切っており、男女共同参画事業計画を持つ市としては不十分と認識している。少子高齢化等により委嘱する団体の役員構成に片寄りが見られ、今後は委員の重複に至らぬよう改善を図っていく。



自然エネルギー補助を

公明

高橋 伸典 議員

■ 新たな助成制度の創設を

問 日本経済は、リーマンショックや東日本大震災等で厳しい景気低迷が続いている。地域の景気向上を含め住宅リフォームや再生エネルギーの普及のため、太陽光発電システムや新エネ・省エネ暖房、LED照明設備助成の考えは。

答 新たな助成制度については、新技術と新商品開発、公共事業の確保、商店街の改修、移住定住の促進による消費拡大など現制度の拡充並びに新エネルギーや再生可能エネルギーの推進を含めて、中長期的なビジョン作成を進め、市独自の方針や導入対策のため、庁内に横断的な組織を立ち上げ、一体的な制度の創設に向け協議を進める。

■ 期間満了後の名寄東病院について

問 国から委譲を受けた名寄東病院は、平成25年末に10年間の用途指定の期間を満了する。期間満了後も、公設民営型の慢性期医療を中心とした現行通りの指定管理者制度で、引き続き開設していくのか？

答 上川北部の地域医療を守る為にも、新たな指定管理の相手先は平成24年度中にも方向性を出していく。

他の質問・ひとり親家庭の抱える課題について・移住定住人口拡大策について



用途指定期間満了後も公設民営で開設が期待される「名寄東病院」

■ ちょっと暮らしの推進

問 北海道移住促進協議会には、北海道105市町村が登録。各地で専用住宅や賃貸マンションを用意し滞在型観光や定住者増加につなげている。

答 名寄市観光振興計画に「避暑地なよろへちょっと暮らし」誘致事業で、北海道暮らしフェアなど首都圏等プロモーション活動を行いたい。友好都市の東京都杉並区と連携し、避暑地として最適な夏と雪質日本一の冬にターゲットを絞り、ちょっと暮らしのモニター事業を実施する。



太陽光発電設備（名寄小学校）

一般質問



行政情報の周知は

市政クラブ

東 千春 議員

市民に知らせる工夫を

問 協働のまちづくりを進めるためには行政情報を知ってもらうことが必要。広報なよろやポータルサイトをはじめ効率的な周知を。

答 広報なよろでは、平成19年に市民アンケート、平成22年には庁内議論を行い改善を図った。特集記事はテーマ設定を考えながら進めたい。HPのイベントカレンダーは職員内で協議し、活用の促進を図りたい。フェイスブックなどの利用は職員のゼロ予算提案もあり、営業戦略室で観光情報を配信しており、行政としての、ふさわしいあり方を調査したい。FMなよるの放送は、災害協定もあり難聴地域への解消に向けアンテナ位置の適正地を選定している。



ホスピタリティのまち

市政クラブ

佐々木 寿 議員

心と環境でおもてなし

問 各種大会、イベントで来名する方々に地域一体となった、また、ふん害を排除して綺麗な環境で迎えられるホスピタリティについて。

答 受け入れのための景観美化事業として「ひまわりボランティア」を募集し、多くの市民の参加を得、種まきを実施した。事業実践の財源が厳しいが、今後とも地道に市民の接遇意識、醸成が図られる観光事業を推進していく。また、ふん害は、飼い主のモラルとマナーの徹底、責任意識醸成のための手法について、他市を参考に、一層の啓発に取り組む。

名寄大学との災害連携

問 大学施設や人的支援等の提供は災害時、防

芸術文化の振興について

問 (仮称)市民ホールを核とする自主事業のあり方と市民主催の事業への支援の考え方は。ホール建設に伴う文化振興条例制定の考えは。

答 舞台芸術実行委員会で現在まで取組んでおり、財団等の補助メニューを活用し、近隣自治体と連携し進めたい。市民主催の事業支援は今後検討したい。文化振興条例の制定は、社会教育中期計画の中で議論する。

他の質問・道路案内看板の考え方について



より良い周知方法を(写真は名寄市のホームページ)

災、減災に期待できると思われるが見解は。

答 大学としては、施設や学生等の支援効果は十分に効果的だと考える。大学の役割、その方法、体制の検討が課題だが、東日本大震災を教訓に多くの公開講座やシンポジウムを開催し検討してきた。学生ボランティアは重要な役割が期待され、支援効果は高いと認識している。他の質問・計画停電・電気料金や燃料価格上昇の対応・希望ナンバープレート・「アラート訓練」・小学校の名前の漢字教育・小中学生の防災



景観美化事業「ひまわりボランティア」による種まき

一般質問



震災の復興支援について

市民連合・凜風会
奥村 英俊 議員

震災がれき受け入れについて

問 震災がれきの受け入れは、放射能汚染・風評被害の心配、不安が解消されていない以上、受け入れしないことを表明すべき。

答 多くの住民から安全性の検証や広域処理に対する批判があり、風評被害が与える影響に対する不安から、現段階で市民や近隣市町村の理解を得るのは難しい。放射性物質による汚染に対する懸念が残り、現状としては受け入れる状況にないと判断している。今後は放射能汚染がないという事に対する国や道の対応を見極め、状況が変わるような場合は改めて議論したい。

被災地・被災された方への支援について

問 被災者の受け入れを継続的・積極的に進め



将来を見据えた農林施策

市民連合・凜風会
植松 正一 議員

各地域の農地問題に向けて

問 人、農地プランの支援事業の担い手対策、農地集積と流動対策の考え方は。

答 人、農地プラン策定後の国の支援策としては、集積化促進の措置として、借り手側だけでなく、出し手側に対する交付金として農地集積協力金を面積で交付する制度の活用、規模拡大加算の中で、地域担い手への農地集積対策で有効活用していく。市の現状は、高齢化、担い手不足の中で、耕作放棄地や遊休農地が想定され、又、個々の農家では経営の限界があり、法人化による共同作業の樹立等を検討する。

新しい制度の基盤づくりは

問 国が策定した「森林・林業再生プラン」の

ていく考えは？また、南相馬市の子供たちを受け入れる目的と内容、今後の展開について、自然豊かな風連望湖台自然公園の活用を。

答 被災後1年が過ぎ各地で復興にあたって住民の帰還を促している状況もあり、積極的な受け入れについては十分な配慮が必要。放射能ストレスの解消と交流促進を目的に40名の南相馬の子供たちを受け入れる。自然学習体験を中心に計画している。望湖台については全体計画の中で協議する。



南相馬の子供たちが宿泊するサンピラーパーク・森の休暇村

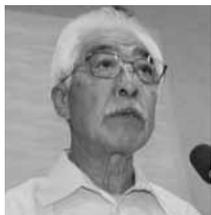
概要と名寄市の取り組み方と作成状況について

答 国では、10年後に木材自給率50%を目指すプランを公表し、森林・林業基本計画の変更、全国森林計画の変更がなされ、名寄市も平成24年度に新しい森林整備計画に基づき施業の集団化、省力化を図る森林経営計画を森林所有者に作成いただき、森林組合、指導に当たる上川総合振興局を始め、各関係機関、専門家等の協力を得て指導チームを作り対応していく。施業は、平成25年からスタートとなる。



降水量減のため、畑作物の成育停滞と出芽が心配される

一般質問



市民のための施策を

市民連合・凜風会
竹中 憲之 議員

市内バス実証試験運行

問 コミュニティバス実証試験が7月1日より運行される。現在の路線とは異なり行き先により、乗り継ぎが必要となることから、運賃と乗り継ぎのあり方と路線再編の考え方について

答 乗り継ぎ運賃は、50円の追加としている。今までは乗り継ぎの習慣が無かったため、混乱が生じることも想定されるので、乗り方・乗り継ぎの方法等についての誘導・サポートの対応を図ることで検討を進めている。実証試験運行のため路線再編については考えられる。

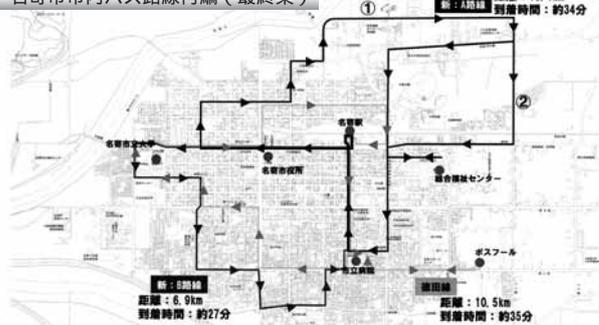
新規就農者の現状と課題

問 基幹産業である農業は、後継者のいない経営者が多く、耕作放棄地を作らないためにも新

規就農者の拡大が課題、今後の施策は。提案として、名寄大学卒業生からの情報発信も考えては。

答 本年「農業・農村振興計画後期計画」において、農業担い手育成センターの機能強化を図り、総合的な農業支援機構の確立を目標としている。新規就農者の今後の対策としては、受入体制等の基本方針を本年度策定する。基本方針を基に、道担い手センターや市ホームページの活用と杉並区派遣職員からの情報発信を進める。

名寄市市内バス路線再編（最終案）



実証試験運行が予定されている路線図案



学童保育所などへの支援を

日本共産党
川村 幸栄 議員

障害児への対応は

問 道教委によると、今年度の上川管内小中学校で特別支援学級に通う児童生徒は1,331人で、5年前の1.6倍。学童保育所の障害児受け入れも2007年の調査で、5年前の1.8倍で一施設当たりの受け入れが増える傾向にある。名寄市の学校での対応と学童保育所や児童クラブでの施設・指導員などの受け入れ態勢は。

答 市内特別支援学級では、40学級79名が通学している。支援教員の加配、名寄大学学生ボランティアの協力などで支援し、子どもたち一人ひとりのニーズを大切にしている。学童保育所、児童クラブの受け入れは13名。国の障害者受け入れ推進事業では、入所しているかいな

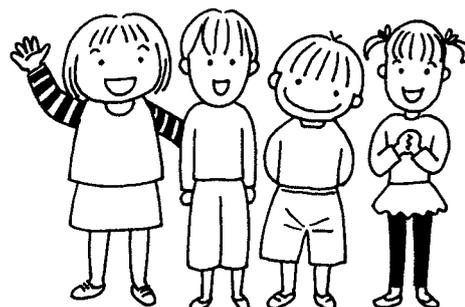
いかでの補助である。自助努力で受け入れてもらっていると認識している。早急に内部での協議を進めたい。保護者の相談も強化したい。

サンルダム建設について

問 説明会や検討委員会は、推進する立場の方達で行っている。ダムが必要かについては多様な意見、考えが反映される検討の場が必要では。

答 風連地区、名寄駐屯地の給水統合を計画する市の計画にとって重要なダムである。

他の質問・市民の命を守る国保について



どこで学んでも子どもたち一人ひとりが必要とする教育が補償される条件整備を

一般質問



安心して暮らせる街

清風クラブ 上松 直美 議員

電力需給における行政の役割は

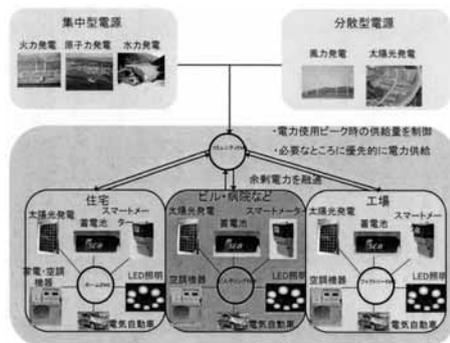
問 今夏の電力需給は、泊原発3基(207万kW)すべてが運転停止し、ひっ迫する状況の中、北海道電力は7%の削減協力を要請している。名寄市としての節電対策と再生可能エネルギーの導入の意義をどう考えているか。

答 公共施設における節電対策は、行財政改革の視点から既に取り組んでいる。パソコンや端末の電源管理、照明のLED化や抑制、自家発電稼働による受電調整など、可能な方策を進める。エネルギーの地産地消など、省エネルギーや再生可能エネルギーの推進に果たす役割は重要で、関係部局と連携し、再生エネルギー導入に必要な調査、検討を進める。

■ 独居老人、障がい者の見守り対策について
問 名寄市としての独自の取り組みと方向性は。

答 各課で管理している介護保険、高齢者、障がい者の情報を一元化した。地域と民生委員との情報の共有化を図り、日常的な見守り体制を強化し訪問活動も実施している。今後、高齢者や障がい者が気軽に集うことができるよう、現施設の有効利用を含め検討し、地域で長く安心して暮らせる施策の推進に努めたい。

他の質問・子育て支援と雇用対策について



理想とされる新しいエネルギー供給システム

住民の声で議会の活性化を!! 議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回行われます。臨時会は必要に応じて開催されます。
 議場での音声を鮮明に聴くために、携帯型受信機を用意しています。
 ◇問い合わせは議会事務局(01654-3-2111)へお申し出ください。◇



委員会活動をお知らせします

総務文教常任委員会

委員会は3月29日、5月7日に開催した。

3月29日は、(仮称)市民ホール基本計画推進状況基本設計に関わる詳細について、5月7日には、委員会所管の平成24年度事業計画TVh中継局の内定、行財政改革計画、職員研修、南相馬市児童受入事業、過疎対策債ソフト事業の運用と内容、教育委員会学校教育の事業計画、

天文台、図書館、博物館、学校給食センターについて、さらに名寄大学の現状と主な事業計画と大学評価の結果について、それぞれ説明を受けた。また、委員会の前段に所管施設研修視察を行った。



北国博物館を視察

市民福祉常任委員会

委員会は、4月27日、5月15日に開催した。

東日本大震災による災害廃棄物の広域処理に関する国、道、名寄市のこれまでの経過概要の説明を受けた。また、本年12月着工予定の名寄市立総合病院精神科病棟を含む全体事業について、工事期間中の駐車場不足や民間を活用した医師住宅の建設等の説明。保育所関係では、

西、南、東保育所の厨房冷房施設を、西、南、智恵文、砺波保育所の手洗い温水工事、東保育所ホール改修事業を確認。国保診療所では、患者数の増と医療体制充実のため、7月より医師1名を増員。



7月より医師1名を増員する風連国保診療所

経済建設常任委員会

委員会は、5月9日に開催し、建設水道部所管では、平成24年度主要建設事業、平成23年度除排雪の状況、名寄市風連地区地域振興審議会からの答申、市営住宅滞納家賃の請求、融雪期における河川の異常増水の対応等について説明を受けた。

また、経済部所管では、平成24年度農林業施

策の概要、商工業施策の概要、地域材利用促進方針、トムテ文化の森のあり方検討委員会の報告、観光交流推進協議会の設立、移住促進協議会の設立、(仮称)複合交通センターについての説明を受けた。



融雪による河川の異常増水で耕地の一部に被害(智恵文智北)

議会運営委員会

委員会を5月28日、6月12日及び14日の3日間中に4回開催し、平成24年第2回定例会の議会運営等について協議した。

第2回定例会は、会期を5月31日から6月14日までの15日間とし、6月1日から11日まで休会、同12日から14日を一般質問として11人の登壇を確認した。また、上程議案は追

加議案を含めて21件、報告9件、諮問1件、意見書6件で、うち「名寄市高齢者自立支援事業条例の一部改正」を市民福祉常任委員会に付託した。

さらに議会基本条例に基づき、第2回定例会終了後、概ね1~2ヵ月の間に開催する議会報告会を7月27・28日の2日間、市内8ヵ所で4班に分かれて企画する。昨年と同様手法だが、多くの市民の参加をいただくため、今後、報告内容の精査を積極的に行うこととした。

議会各会派の政務調査報告

■ 市政クラブ

平成23年度は道外、道内各1回視察を行った。道外では東金市のNPO法人地域医療を育てる会を視察。この会は病院の医師不足を知り、病院の正しい情報を市民に知らせ、市民と病院が対話する場作りを目指し、2005年に設立され、現在では全国に設置されている。今ではこのような会のパイプ的な存在となっている。その他、野田市では地域と連携した教育、白河市で木質バイオマス発電、伊達市で筑波大学の

研究を活かした企業を活用した健康運動教室を、仙台市では、市立天文台を視察した。

道内では、札幌市生涯学習センター「ちえりあホール」他4カ所の視察研修を行った。



福島県白河市のウッドパワーバイオマス発電

■ 市民連合・凜風会

平成23年度は、旧市民連合と旧凜風会が合併し、7人の新会派となり政務調査費を活用し、道外1回、道内2回の政務調査と市内3カ所で議会報告・意見交換会を行った。道外は高岡市、高山市、上田市、阿賀野市、新発田市で、ものづくり・まちづくりの現状と課題について学び、議会報告会での報告と市政への反映の参考とした。

のために上富良野町・鷹栖町・美深町と札幌市・砂川市のタイプの違うホールの調査を行い、学んだことを議会の場で提案・提起した。

議会報告・意見交換会では130名の方にご参加いただき、多くの貴重なご意見をいただいた。



東小学校で開催した議会報告会・意見交換会

道内の視察は、市民ホール建設に向けた議論

■ 新緑風会

新緑風会は、厳しい財政運営を強いられる名寄市の“台所事情”を深く掘り下げていくことを狙いに、年明けの1月18日から同21日まで滋賀県大津市で開講された全国市町村国際文化研修所主催の『平成23年度第2回市町村議会議員短期研修・自治体財政の見方～健全化判断比率を中心に～』を受講した。今回のセミナーでは、実際に窮迫財政を強いられる某自治体の事例に、マイナス要因を検証し、その対策を見

出す手法等を学んだ。また、この講義で学んだ公会計の仕組みや用語を、機会をとらえて市民の皆さんにご理解して頂けるよう努めていく。さらに、市の財政状況を知っていただけるように、新緑風会では議会を通して名寄市の安定財政に向けて提言をしていくことに決意を新たにした。

セミナーに聞き入る議員
(滋賀県)



■ 清風クラブ

平成24年3月3日から5日までセミナーに参加、都内の劇場、ホールの視察を行った。

3月3日に東京都千代田区剛堂会館で開催された二元代表制下の議会と首長「議会の存在意義発揮へ」と題したセミナー研修会に参加した。

全国の市議会議員が多く参加し、二元代表制における議会の役割と現制度の矛盾等、貴重な研修ができたことは、議員の資質向上を図るとともに、今後の議会改革に役立てていきたい。

都内の劇場、ホールを5カ所視察した。(国立劇場、イイノホール他3カ所)この視察で調査した多くの情報を踏まえ、市民ホールのあるべき姿について学ぶことができた。



市民ホールのあるべき姿を学んだ「イイノホール」

議会各会派の政務調査報告

日本共産党

10月25日・26日札幌市において、市町村議員研修会に参加し、地方財政について、記念講演「TPPと森林・林業」、実践報告「議会改革」について研修し研鑽を深めた。

道森林組合連合会副会長の岡本光昭氏による記念講演では、林業の辿ってきた道のり、現状、林業の果たす役割をわかりやすく述べられ、実質、TPP参加状態であり林業の轍を踏んではならないと強調し、TPP参加反対を表明され

る。

登別市議会運営委員長天神林美彦氏の「開かれた議会めざして～『議会改革』」の実践報告は、議会基本条例を制定・施行され、見直し等の議論が進む当議会に、参考となる内容であった。



スクリーンを活用し、議会改革の流れを報告

公明

7月13日に、ふうれん風っ子ホールで「高橋しんすけ語る会」を行い、77名の参加者に議会報告と意見交換会を開催した。8月5日には、第一法規 主催の特別セミナー「地方議会議員の今日的役割と課題」に参加した。

平成24年2月には、道内視察を実施した。農業生産法人 神内ファーム21では、「克冬制夏」をコンセプトに野菜の通年栽培を行っている。北電総合研究所では、大規模電力供給用太

陽光発電系統安定化等実証研究の概要など3点、北洋銀行本店では、地域産業支援部の取組みなど6点、北海道庁では、中小企業の振興施策、産消協働の推進など6点を、札幌市生涯学習センター「ちえりあ」では、ホール等を視察した。



札幌市生涯学習センター「ちえりあ」ホール

政務調査費とは

政務調査費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派（所属議員1人の場合も含む）に対して交付しています。【交付額は議員1人当たり、月額10,000円です。】

平成23年度各会派の政務調査費概要報告

（単位：円）

	市政クラブ	市民連合・凜風会	新緑風会	清風クラブ	日本共産党	公明	合計
政務調査費交付額	850,000	850,000	250,000	250,000	120,000	120,000	2,440,000
返還（未執行）	0	33,347	36,130	120,005	37,659	61,988	289,129
H23年度交付額	850,000	816,653	213,870	129,995	82,341	58,012	2,150,871
支出							
研究研修費			14,600	17,000	35,600	15,830	83,030
調査旅費	830,400	774,329	199,270	66,995		28,975	1,899,969
資料作成費							
資料購入費	19,600	10,500		29,400	25,625		85,125
広報費					11,760		11,760
広聴費		19,544				12,546	32,090
その他経費		12,280		16,600	9,356	661	38,897
計	850,000	816,653	213,870	129,995	82,341	58,012	2,150,871

掲載していませんが、交付額を超えた費用については、会派で負担しています。

議員協議会

議員協議会開催される

4月27日、5月31日及び6月14日の本会議終了後に議員協議会が開催された。

5月31日には、名寄市土地開発公社、名寄振興公社、ふうれん、名寄市社会福祉事業団の経営状況の報告と質疑が行われた。平成23年度決算では、名寄市土地開発公社が当期純利益99万5,503円を計上。また、名寄振興公社は、順調な降雪によりリフト運送実績は、前年比181.8%と大幅な増となったが、各施設の利用客の減少と燃料費・光熱費の高騰で収支不足となった。また、市の施設利用料を減額したものの当期純損失603万8,605円を計上した。議員からは、施設の改修や管理、利用客増を図る施策等についての質問、提言が行われた。

ふうれんは、業務の再開発事業が完了したことから売上げがなく、前期繰越損失金を含め、40万432円の累積損失金を計上した。

社会福祉事業団では、1億738万2,603円を次年度に繰入し、近年多様化する福祉サービスの業務推進を図って行くこととした。

また、4月27日・5月31日・6月14日には、(仮称)市民ホール基本設計進捗状況の報告と質疑が行われ、基本方針・配置計画・施設計画・大ホール計画・音響計画・電気及び機械設備計画・管理運営計画等々の協議が行われた。



議会スナップ

チャレンジデーに参加

議員会

今年も、5月30日に開催されたチャレンジデー市民綱引き大会に議員会も参加しました。

小学生から一般まで121チームが参加し、力を振り絞って綱を引き続けました。

わが議員会チームの結果は、一勝はしたものの.....?



用語解説

1 MA (メディカルアシスタント) とクラーク

MAは医師事務作業補助者で、医師が行う事務を補助・代行する医療従事者。医師の指示により診断書・処方箋・紹介書の作成補助、電子カルテの入力代行などを行う。平成20年(2008年)の診療報酬改定に伴い導入された。また、クラークは、病棟や外来などで、事務的

な業務を担当。カルテや伝票などの書類の管理、他の部門への搬送(書類、伝票など)を行い、医師や看護師が医療業務に専念できるよう事務の立場から補助している。

2 Jアラート(全国瞬時警報システム)

国と地方公共団体との間で緊急情報通信を行うネットワークシステム。

議会日誌

- 3月7日 ・ 市民福祉常任委員会
 ・ 議員協議会
 ・ 議会運営委員会
 12日 ・ 総務文教常任委員会
 15日 ・ 市民福祉常任委員会
 ・ 経済建設常任委員会
 ・ 総務文教常任委員会
 19日 ・ 議会運営委員会
 ・ 総務文教常任委員会
 21日 ・ 総務文教常任委員会
 29日 ・ 総務文教常任委員会
 30日 ・ 議員協議会
 ・ 議会報特別委員会
 4月17日 ・ 福岡県筑後市議会行政視察来庁
 ・ 北海道市議会議長会道北支部議長会（春季）（土別市）
 23日 ・ 各会派代表者会議

- 26日 ・ 第75回北海道市議会議長会定期総会（土別市）
 27日 ・ 議員協議会
 ・ 市民福祉常任委員会
 5月7日 ・ 総務文教常任委員会
 9日 ・ 経済建設常任委員会
 ・ 全国自治体病院経営都市議会協議会第40回定期総会（東京都）
 11日 ・ 議会運営委員会
 ・ 第1回名寄市議会臨時会
 14日 ・ 上川北部市町村議会議長会5月定例会・総会（幌加内町）
 15日 ・ 市民福祉常任委員会
 21日 ・ 各会派代表者会議
 23日 ・ 全国市議会議長会第88回定期総会（東京都）
 31日 ・ 議員協議会
 6月12日 ・ 議会運営委員会
 14日 ・ 議員協議会

＝ 臨時会 ＝

平成24年第1回臨時会が、5月11日に開催されました。

議案審議では、専決処分した事件（名寄市税条例の一部改正・名寄市都市計画税条例の一部改正・名寄市国民健康保険税条例の一部改正）について審議され承認しました。また、名寄市固定資産評価審査委員会委員の選任について提案され同意されました。

固定資産評価委員
 名寄市固定資産評価審査委員会委員の選任に同意しました。



大谷 純二氏
 （再任）
 名寄市西4条南
 10丁目10番地



有門 優氏
 （再任）
 名寄市風連町字
 西風連1700番地



高谷 恵美子氏
 （新任）
 名寄市西4条南9
 丁目14番地2

可決された意見書

- ・ 基地対策関係予算の増額を求める意見書
- ・ TPP交渉参加にむけての協議からの撤退を求める意見書
- ・ 医療計画、2次医療圏の基準見直しに関する意見書
- ・ 再生可能エネルギーの導入促進に向けた環境整備を求める意見書
- ・ 「防災・減災ニューディール」による社会基盤再構築を求める意見書
- ・ けいれん性発声障害（SD）の研究・治療等の推進を求める意見書

きほう



東日本大震災から1年
名寄市西1条北7丁目1-4 東出 希

私が東日本大震災に伴う災害派遣に参加して、約1年が経ちました。現地で悲惨な状況を目の当たりにした者として、災害により尊い命を失われた方々のご冥福を心よりお祈りいたします。

さて、派遣隊員の中には、任務を終えて名寄に帰隊してからも、被災者の方々と電話や手紙のやり取りをしている隊員もいます。この災害派遣を通じて私が感じたことは、家族、仲間、地域、そして日本人として支え合う心「絆」の大切さでした。今後もこの経験を活かし、自分にできること、自分にしかできないことを見つけ、日々前進していきたいと思っています。



サッカーを通じて
名寄市西10条北3丁目 谷口 直寿

私が名寄ピヤシリサッカースポーツ少年団に携わってから、20年が過ぎました。その間、日本のサッカー界もJリーグの開幕、ワールドカップ出場や、なでしこジャパン世界一と大きく躍進し、サッカーを通じて団員も自分の子どもの頃とは比較できないほど、大きな夢を持つことができるようになりました。少年団活動のなかで、「サッカーを学ぶ事」はもちろんですが、「サッカーで学ぶ事」が成長していくうえで、最も重要と考えています。子どもたちの夢の実現に向けて、家族やスタッフと協力しながらサポートしていきたいと思っています。

議会報告会を開催します

議会報告会を開催します。名寄市議会の1年間の活動を報告するとともに、市民の皆さんの議会に対するご意見をうかがいたいと思います。お近くの会場にぜひご参集ください。

7月27日(金)

智恵文多目的研修センター
ふうれん地域交流センター
アカシヤ福祉会館(西11南8)
東12区町内会館(東1北3)

午後7時00分～
午後6時30分～
午後6時30分～
午後6時30分～

7月28日(土)

名寄市総合福祉センター
名寄市民会館
17区福祉会館(西5北2ラルズ横)
名寄東小学校多目的ホール

午後6時30分～
午後6時30分～
午後6時30分～
午後6時30分～

編集後記

▶5月31日から6月14日まで第2回定例会が開催され、今回もさまざまな市政課題について議論が交わされました。今後も市民の代表としての立場をしっかりと認識し、市民生活向上のために努力していきたいと思っています。▶6月2日、「名寄239ひまわりロード」にひまわりボランティアの皆さんにより種まきが行われま

した。今年も市内各所にたくさんのひまわりが咲き、街が活気づくことでしょう。来月の満開が今から楽しみです。▶いよいよ名寄にも暑い夏がやってきます。レジャー等で海や山などに出かける機会も増えてくると思いますが、交通事故などには、十分に気を付けて短い夏を楽しくお過ごしください。(山)

